

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25220104	研究期間	平成 25 年度～平成 28 年度
研究課題名	プランテーションのダイナミックモデル開発による持続性評価と地域システムへの展開	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	藤江 幸一（横浜国立大学・先端科学高等研究院・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる	
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究は、スマトラ島でのパーム、キャッサバ等の栽培システムを対象として、栽培管理やバイオマスリサイクル導入による環境負荷、エネルギーフロー、栽培環境（土壌、経済性）の動的変化を予測するシステムダイナミクスモデルを開発し、発展途上国での循環型社会構築という課題の社会的実装性を高める研究である。研究遂行上必要な措置として、研究分担者の交代を行い、炭素、窒素を中心とする物質収支、エネルギーフロー、複数バイオマーカーによる土壌環境改善効果等を詳細に解析し、順調に成果を上げている。しかしながら、モデル開発及びバイオマス残渣の活用とその物質収支の解析・評価に関する研究の遅れが懸念される。期待どおりの成果を上げるには、今後より一層の努力が必要である。